

# KORG

**Pa6000**  
professional arranger

オペレーティング・  
システム 2.1

## コルグ Pa600 - オペレーティング・システム リリース 2.1

### バージョン2.1の新機能

オペレーティング・システム・バージョン2.1では、以下の機能が追加されます。

コントローラー	ページ
VOX V860 ボリューム・ペダルとの互換性の追加	5
ボリューム / エクスプレッション・ペダルのカーブ・プリセットの追加	5

本機で、Media>Utilityページへ移動し、ディスプレイの下側に表示されているバージョン・ナンバーを確認してください。

新しいオペレーティング・システムのインストール手順については、コルグ・ウェブサイト([www.korg.com](http://www.korg.com))からダウンロードしたインストール・ファイルに添付の説明書「PaシリーズOSアップデート」をお読みください。

オペレーティング・システムは、ロード後、Media > Utility > Factory Restoreコマンドで新しいグローバル設定をロードしてください。他のリソースを上書きしないように、RestoreダイアログでGlobalのみチェックしてください。

**Warning:** Factory Restoreコマンドを実行する前に、今あるすべてのデータをストレージ・デバイスに保存しておいてください。既存のミュージカル・リソースは、Media > Save ページで保存できます。

**Hint:** 新しいオペレーティング・システムのロード後に、タッチビュー・ディスプレイ(Global > Touch Panel Calibration)とペダル/フット・スイッチ(Global > Controllers > Pedal/Switch)のキャリブレーションを行う必要があります。

### 前のOSバージョンで追加された機能

#### バージョン2.0

以下の機能は、オペレーティング・システム・バージョン2.0で追加されました。

Sampling モード	ページ
サンプル編集の追加	4

#### バージョン1.2

以下の機能は、オペレーティング・システム・バージョン1.2で追加されました。

ソングブック	ページ
ソングブックとソフトウェアの同期	3
Global モード	
Chord Recognition のオプションに「Fingered (3 Notes)」を追加およびオプション「Fingered」の名称変更	4

Velocity curve オプションの変更	5
MIDI 出力の Control Channel	5
MIDI プリセット「Tablet」の追加	5
ミュージカル・リソース	
グローバル・ファイルの更新	6

#### バージョン1.1

以下の機能はオペレーティング・システム・バージョン1.1で追加されました。

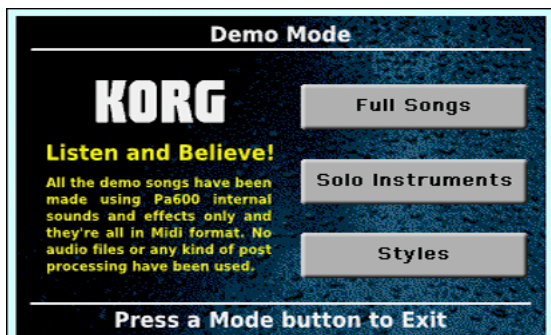
デモ・モード	ページ
画面の変更	3
各モード	
パフォーマンス、STS、スタイル、ソングブック・エントリーの保存	3
Select All (Bank) コマンドの追加	3
Global モードの Global Split Point パラメーター	3
ローカル・スプリット・ポイントの保存	3
Style Play モードと Song Play モード	
パッド・シーケンスの停止方法	3
ソングブック	
Book Edit ページ	3
Init SongBook コマンドの追加	3
ソングブック設定の自動保存	3
歌詞、スコア、マーカー	
歌詞、楽譜、マーカー各設定の自動保存	4
Global モード	
Show Columns の追加	4
Media モード	
ファクトリー・スタイルとパッドのロード	5
ファクトリー・スタイルとパッドの保存	5
ファクトリー・リストアとリソース・リスト	6
バックアップ・ファイルのフォーマット	6
Resource Restore コマンドの名称変更	6
Media モード設定の自動保存	6
ミュージカル・リソース	
ミュージカル・リソースの更新	6
ショートカット	
ショートカットの更新	7

## デモ・モード

### 画面の変更

[1.1]

デモ・モードの画面が新しくなりました。



## 各モード

### パフォーマンス、STS、スタイル、ソングブック・エントリーの保存

[1.1]

PERFORMANCE、STS、STYLEまたは SONGBOOKの各キーを約1秒間押したままにすると、それぞれのライト・ダイアログ・ボックスが表示されます。現在の設定を内蔵メモリーに保存することができます。

### Select All (Bank)コマンドの追加

[1.1]

スタイル、パフォーマンス、サウンド、パッドの各選択画面のページ・メニューに「Select All (Bank)」コマンドを追加しました。



#### Select All (Bank)

このコマンドを選ぶと、現在のバンク内の全項目が選択できます。SHIFTキーを押したまま、選択されている1つの項目にタッチすることで、選択を解除することができます。また、1つの項目をタッチすることで、すべての選択が解除されます。

### GlobalモードのGlobal Split Pointパラメーター

[1.1]

Global Split PointパラメーターをGlobal> Mode Preferences > Styleページのみでエディットするように変更しました。Style PlayやSong PlayモードのSplitパネルでGlobalチェック・ボックスをチェックすると、Globalモードで設定したGlobal Split Pointパラメーターが適用されます。

Style PlayやSong PlayモードのSplitパネルでSplit Pointパラメーターをエディットすると、Globalチェック・ボックスのチェックが自動的に外れ、ローカル・スプリット・ポイントをエディットすることができます。



### ローカル・スプリット・ポイントの保存

[1.1]

ローカル・スプリット・ポイントは、各スタイルまたはソングブック・エントリーとともに保存することができます。各STSには保存されません。

## Style PlayとSong Playモード

### パッド・シーケンスの停止方法

[1.1]

すべての、または任意のパッド・シーケンスを同時に停止することができます。

- パッド・セクションのSTOPキーを押すと、すべてのシーケンスが同時に停止します。
- パッド・キーを押すと、そのパッドに対応するシーケンスが停止します。
- (シーケンスがドラム、パーカッション・タイプではない場合) INTRO 1キーを押すと、パッドのシーケンスが停止します。
- ENDINGキーを押すと、パッドのシーケンスを最後まで演奏し停止します。

## ソングブック

### Book Editページ

[1.1]

すべてのBook Editページの構成を少し変更しました。すべての機能は前のバージョンと同じです。

### Init SongBookコマンドの追加

[1.1]

ソングブックを初期化する「Init SongBook」コマンドをページ・メニューに追加しました。

#### Init SongBook

ブック・リストとカスタム・リストを消去し、空のソングブックを作成します。

**Warning:** ソングブックを初期化するまえに、Media > Saveページで、既存のソングブックを保存することをおすすめします。

### ソングブック設定の自動保存

[1.1]

ソングブックのページにある、すべての設定(選択されている列、タイプの順番、ジャンル/アーティスト表示、エントリー・ナンバー/オリジナル・キー表示)はエディット後に、自動的に保存されます。

### ソングブックとソフトウェアの同期

[1.2]

PCやタブレット端末上のソフトウェアでソングブックの編集が可能になります。

「KORG SongBook Editor」を使用すると、Windows PC上で1つのエントリーや、ソングブックのデータベース、カスタム・リストを編集することができます。

また、BauM Software社の「SongBook+ for iPad」やZubersoft社の「MobileSheets for Android」を使用すると、タブレット端末とソングブック・エントリーとを同期させたり、歌詞や楽譜をタブレット端末に表示させることができます。

その他にも開発中のソフトウェアがあります。それらのリリースに関する情報をKORG Webサイトに掲載する予定にしておりますので、定期的にご確認ください。

## 歌詞、楽譜、マーカー

### 歌詞、楽譜、マーカー設定の自動保存 [1.1]

歌詞ページ、楽譜ページ、マーカーページのすべての設定は、エディット後に自動的に保存されます。

## Samplingモード

### サンプル編集機能の追加 [2.0]

Samplingモードの追加で、新しくサンプルやマルチサンプル、オーディオ・グループを作成できるようになりました。また、様々なファイル形式のサンプルやマルチサンプル、サウンドやサウンドのバンクをロードし、編集することもできます。

Samplingモードの詳細については、「Samplingモード(OS v2.0の追加機能)」(PDF)を用意しています。コルグ・ウェブサイト(www.korg.com)からダウンロードしてください。

## Globalモード

### Chord Recognitionのオプションに「Fingered (3 Notes)」を追加およびオプション「Fingered」の名称変更 [1.2]

Chord Recognitionパラメーターのオプションに「Fingered (3 Notes)」を追加しました。また、従来のオプション「Fingered」の名前を「Fingered (1 Note)」に変更しました。

Global > Mode Preference > Style > Chord Recognitionパラメーターの説明が変更になります。

#### Chord Recognition

このパラメーターでアレンジャー(自動伴奏エンジン)がどのようにコードを認識するかを選択します。

SPLITキーの状態によって、コード認識モードは自動的に次の表のようにセットされます。

Chord Recognition Mode	
SPLIT LED On	SPLIT LED Off
One Finger	Fingered (3 Notes)

Chord Recognition Mode	
Fingered (1 Note)	Fingered (3 Notes)
Fingered (3 Notes)	Fingered (3 Notes)
Expert	Expert

One Finger 次の演奏方法によってコードを指定できます：

- ・単音を演奏するとメジャー・コードになります。
- ・ルート音を鍵盤で指定し、その左隣の白鍵を演奏するとセブンス・コードになります。例えば、C3とB2を同時に弾くとC7になります。
- ・ルート音を鍵盤で指定し、その左隣の黒鍵を演奏するとマイナー・コードになります。例えばC3とBb2を同時に弾くとCマイナーになります。
- ・ルート音を鍵盤で指定し、その左隣の白鍵と黒鍵を演奏するとマイナーセブンス・コードになります。例えばC3、B2、Bb2を同時に弾くとCm7になります。

Fingered (1 Note)

スプリット・モードの場合、単音または複数のノートでコードを指定できます。単音を弾いた場合はメジャー・コードになります。

フル・キーボード・モードの場合、最低3音を同時に押さえるとコードとして認識されます。

Fingered (3 Notes)

コードを認識させるためには、3音またはそれ以上のノートを弾く必要があります。

Expert

スプリット・モードの場合、単音または複数のノートでコードを指定できます。フル・キーボード・モードの場合は、最低3音を押さえるとコードとして認識されます。

単音を弾くとユニゾンとして演奏されます。また、5度のノートを弾くと「ルート+5度」のコードになります。

このモードでは、ジャズやフュージョン、ポップスなどでよく使われるルートを演奏しないコードや分数コードを演奏することができます。このタイプのコードはジャズ・ピアノ特有のコードを演奏する際に非常に便利です。この時、必ずしもルート音やすでにベース・トラックで演奏しているノートを弾く必要はありません。

### Show Columnsの追加 [1.1]

GlobalモードのMode Preference>MediaページにShow Columnsが追加になります。

#### Size

チェックすると、Mediaモードにおいて、ファイル・セクターにファイル・サイズを表示するコラムが表示されます。

#### Date

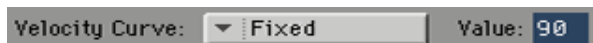
チェックすると、Mediaモードにおいて、ファイル・セクターにファイルの作成日を表示するコラムが表示されます。

## Velocity curveオプションの変更 [1.2]

Global > Controllers > Hand Controllersページ>Keyboard Settingsの” Velocity Curve” のオプション「Fix」を削除し、「Fixed」が追加になります。

### Velocity Curve

Fixed タッチの強弱に反応せず、音色や音量は常に一定です。Fixedを選択したときは、ベロシティの値を設定できます。



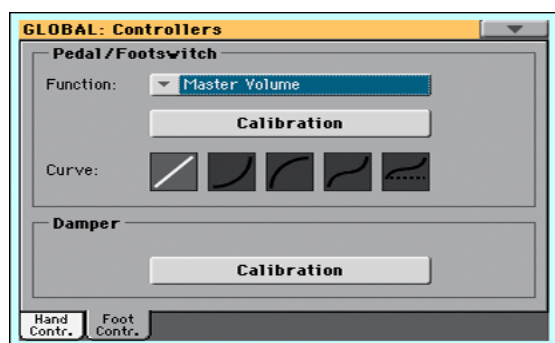
## VOX V860 ボリューム・ペダルとの互換性の追加 [2.1]

VOX V860ボリューム・ペダル(別売)が使用できます。

## ボリューム / エクスプレッション・ペダルのカーブ・プリセット [2.1]

**Note:** OS v2.1をインストールしたときは、ボリューム/エクスプレッションペダルのカーブを選択してください。以前の設定が機能しなくなることがあります。

ボリューム / エクスプレッション・ペダルに割り当てられている機能によっては、カーブを選択してペダルがその機能にどのように影響するかを設定できます。適用されないカーブはグレー表示になります。



1. エクスプレッションペダルを接続し、キャリブレーションを行い機能を選択します。プリセットされたカーブは、一部の機能でのみ選択できます。
2. Curve ボタンをタッチして、カーブを選択します。

Curve	意味
	直線的なカーブ(Bカーブ)。
	指数関数的なカーブ(Aカーブ)。ペダルを踏み込むほど大きく変化するカーブです。
	対数関数的なカーブ(Cカーブ)。ペダルの踏み始めに大きく変化します。
	S字型カーブ。ペダルの踏み始めと終わりが大きく変化し、中間ではゆっくり変化します。

Curve	意味
	オフセットを持つS字型カーブ。S字型カーブと同じですが、ゼロより高い値から始まります。

## MIDI出力のControl Channel [1.2]

Global > MIDI > MIDI Out Channelsページ、“Channels” のオプションにControl Channelが追加になります。Ch01～Ch16のいずれかのチャンネルでControl Channelを指定すると、ソングブック・エントリー選択時にControl Channelを指定したMIDIチャンネルでMIDIメッセージを送信します。

ソングブック・エントリー選択時、以下のメッセージが送信されます。

- 初期化文字列：NRPN コントロール・チェンジ・メッセージ CC#99 (MSB、値 2) と CC#98 (LSB、値 64)。
- 選択文字列：千および百の位向けの CC#06 (データ・エントリー MSB) と、十および一の位向けの CC#38 (データ・エントリー LSB) の 2 つのコントロール・チェンジ・メッセージ。データ・エントリー・コントロールの範囲は、標準的な 0～127 ではなく 0～99 です。

これらのデータは、外部エディターで受信して使用することができます。

外部からのソングブック・エントリーの選択については、ユーザー・マニュアルをご覧ください。

## MIDIプリセット「Tablet」の追加 [1.2]

Global > MIDI > General Controlsページ、MIDI Preset “Preset” のオプションに「Tablet」が追加になります。このMIDIプリセットは、ソングブックとタブレット端末上のソフトウェアとの同期を可能します。また将来的に、MIDI #16チャンネルを使用したコントロール機能を実装する予定にしています。

## Mediaモード

### ファクトリー・スタイルとパッドのロード [1.1]

Global > Mode Preferences > Media の「Factory Style and Pad Protect」パラメーターのチェックが外れている場合、データの内蔵メモリーへのロード時にFactory StyleとFactory Padをロード先として選択できます。

1つのスタイルやパッド(または1つのバンクのスタイルやパッド)のロード時、ファクトリー・ロケーションはフェバリット/ユーザー・ロケーションと同様にロード先として選択することができます。

「.SET」フォルダーのロード時、すべてのファクトリー・スタイルとパッドが、内蔵メモリー内の対応するファクトリー・ロケーションにロードされます。

**Warning:** 確認後、ロード先にある元のデータは削除されます。

### ファクトリー・スタイルとパッドの保存 [1.1]

Global > Mode Preferences > Mediの「Factory Style and Pad Protect」パラメーターのチェックが外れている場合、内蔵メモリーのFactory StyleとFactory Padも保存することができます。

1つのスタイルやパッド(または1つのバンクのスタイルやパッド)の保存時、ファクトリー・データもフェバリット/ユーザー・ロケーション・データと同様に保存することができます。

メモリー内の全データの保存時、ファクトリー・スタイルとパッドも選択できます。内蔵メモリー内のすべての項目を選択し(「All」)、既存のまたは新規の「.SET」フォルダーへのデータを保存することを確認した後、保存したいデータの種類を選択するように求められます。



ファクトリー・スタイルとパッド・プロテクトがオン時の Save All ダイアログ



ファクトリー・スタイルとパッド・プロテクトがオフ時の Save All ダイアログ

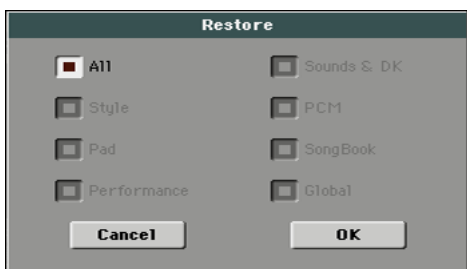
確認後、ファクトリー・スタイルとパッドは「.SET」フォルダーへ保存されます。

### ファクトリー・リストアとリソース・リスト [1.1]

オリジナルのファクトリー・データまたはバックアップ・データからリストアすることができます。

Media > Utility ページの「Factory Restore」または「Resource Restore」コマンドを実行後、リストアするデータ・タイプを選ぶダイアログ・ボックスが表示されます。

リストアしたいデータをチェックします。



「All」をタッチして解除すると、個々のデータ・タイプを選択することができます。



**Warning:** このコマンドは、このダイアログ・ボックスで選択したデータ・タイプをすべて、内蔵メモリーから削除します(あなたが編集したカスタム・データも含まれます)。

実行すると、Pa600を再起動するかどうかのメッセージ(「Data Restored. Please switch off」)が表示されます。Pa600を再起動にしてください。

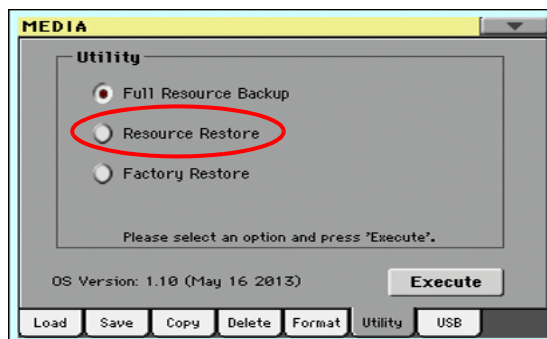
### バックアップ・ファイルのフォーマット [1.1]

Media > Utility ページの「Backup Resources」コマンドを選択して作成されるバックアップ用ファイルのフォーマットが新しくなりました。

そのため、作成したバックアップ・ファイルは、バージョン1.1よりも古いOSではロードすることはできません。

### Resource Restore コマンドの名称変更 [1.1]

Media > Utility ページの「Full Resource Restore」コマンドの名称を「Resource Restore」と変更しました。



### Mediaモード設定の自動保存 [1.1]

Mediaモードのすべての設定(列の選択、順番など)が、エディット後に自動的に保存されます。

## ミュージカル・リソース

オペレーティング・システムをバージョン1.1へアップデートしたときは、Media > Utility > 「Factory Restore」コマンドでミュージカル・リソースを更新します。ミュージカル・リソースはオペレーティング・システムとともにロードされますが、このコマンドを使用して更新してください。

オペレーティング・システムをバージョン1.1からアップデートした場合は、グローバル設定だけをロードしてください。他のリソースを上書きしないように、RestoreダイアログでGlobalのみチェックしてください。

**Warning:** ミュージカル・リソースをアップデートする前に、以前のデータをストレージ・デバイス等に保存してください。保存は、Media > Save ページで行います。

### ミュージカル・リソースの更新 [1.1]

既存のミュージカル・リソースを更新すると、新しいオペレーティング・システムに最適化されます。

### グローバル・ファイルの更新 [1.2]

MIDIプリセットに「Tablet」が追加になります。

## ショートカット

いくつかのショートカットが変更になりました。以下のショートカットが有効です。

### SHIFTキー・ショートカット

SHIFTキーを押しながら、コントロール・パネルのキーやダイヤル、ディスプレイを操作することによって、直接エディット・ページやダイアログ・ボックスに移動することができます。

SHIFT +	機能
<b>各モード</b>	
VALUE ダイヤル	テンポの変更
スクロール・アロー	リスト表示時に、現在選択している列から、次の、または前のアルファベットに移動
Song Play キー Sequencer キー	Global > Mode Preferences > Song & Seq ページに移動
Sound Edit キー	選択しているトラックにアサインされているサウンドを、Sound モードに移動しエディット
Global キー	Global > MIDI > General Controls ページに移動
Media キー	Global > Mode Preferences > Media ページへ移動
Start/Stop キー	パニック・キー
Style Play キー Accomp. キー Memory キー	Global > Mode Preferences > Style ページへ移動
Fade In/Out キー	Global > General Controls > Basic ページの Fade In/Out パラメーターを選択
Synchro キー	Global > MIDI > General Controls ページの Clock Source パラメーターを選択
Tempo +/- キー	選択しているトラックと同じタイプのトラックのすべての音量レベルを調整
Tempo Lock	Global > General Controls > Lock ページに移動
Metro キー	Global > General Controls > Basic ページの Metronome セクションへ移動
SongBook キー	SongBook > Custom List ページへ移動
Transpose キー (b / # どちらかのキー)	Global > Tuning > Transpose Controls ページへ移動
<b>Style Play モード</b>	
Variation キー	Style Play > Controls > Drum Map ページに対応するバリエーションを選択
Ensemble キー	Style Play > Keyboard/Ensemble > Ensemble ページの Ensemble Type パラメーターを選択
Pad キー (任意のキー)	Style Play > Pad/Assignable Switches > Pad ページへ移動
Assignable Switch キー (任意のキー)	Style Play > Pad/Assignable Switches > Switch ページへ移動
Upper Octave キー (+ / - どちらかのキー)	Selects the Style Play > Mixer/Tuning > Tuning ページへ移動
<b>Style Record モード</b>	
Tempo +/- キー	Sound/Expression ページ表示時：スタイル・トラックのエクスペッション・レベルを調整。
<b>Song Play モード</b>	
Ensemble キー	Song Play > Keyboard/Ensemble > Ensemble ページの Ensemble Type パラメーターを選択

SHIFT +	機能
Pad キー (任意のキー)	Song Play > Pad/Assignable Switches > Pad ページへ移動
Assignable Switch キー (任意のキー)	Song Play > Pad/Assignable Switches > Switch ページへ移動
Upper Octave キー (+ / - どちらかのキー)	Song Play > Mixer/Tuning > Tuning ページへ移動
<b>JukeBox</b>	
>> キー	ジューク・ボックス・リストの次のソングを再生
<< キー	ジューク・ボックス・リストの前のソングを再生
<b>Lyrics</b>	
Display キー	テキスト・ファイルをロード
<b>Sequencer モード</b>	
Upper Octave キー (+ / - どちらかのキー)	Sequencer > Mixer/Tuning > Tuning ページに移動

### キーの長押しによるショートカット

キーを約1秒間押しただまにすると、エディット・ページやダイアログ・ボックスへ直接移動できます。

キー	機能
<b>各モード</b>	
Global キー	タッチ・パネル・キャリブレーション
SongBook キー	新規ソングブック・エントリーを作成し、「Write Song」ウィンドウを開く (ソングブック外にいるとき)
Split キー	スプリット・ポイント・ダイアログ・ボックスを開く。鍵盤を押して新たにスプリット・ポイントを設定
My Setting	「Write My Setting」ダイアログ・ボックスを開く
<b>Style Play モード</b>	
Style キー	「Write Current Style Settings」ダイアログ・ボックスを開く
Performance キー	「Write Performance」ダイアログ・ボックスを開く
STS キー	「Write STS」ダイアログ・ボックスを開く
<b>Song Play モード</b>	
Performance キー	「Write Performance」ダイアログ・ボックスを開く

### 他のショートカット

キー	機能
<b>Style Play モード</b>	
Tempo +/- キー (同時に押す)	オリジナルのテンポ値に戻る
Transpose #/b キー (同時に押す)	マスター・トランスポーズを0に設定
Upper Octave +/- キー (同時に押す)	アッパー・オクターブ値を保存されている値に設定

# Appendix

## Improvements and bug fixes

### Improvements in OS 2.10

Area	Improvement
Various	General performance improvements.

### Improvements in OS 2.00

Area	Improvement
Various	General performance improvements.

### Bug fixes in OS 1.21

Area	Bug fix
Musical Resources	Pa600 QT loaded some Pa600 Standard resources when using the Factory Restore command or loading the Factory Reset package.

### Improvements in OS 1.20

Area	Improvement
Boot	The start-up procedure is now faster.

### Bug fixes in OS 1.10

Area	Bug fix
Various Modes	A wrong One Finger chord could be recognized when Master Transpose was different than '0'.
	Starting from B6 (#95), notes received from MIDI IN could sometimes not play.
Style Play Mode	Wrong Sounds could be selected when choosing a Style.
	Changes to the Style Settings (Style track Sounds, Volume...) could sometimes be lost.
Song Play Mode	Fade In/Out did not work with MP3 Songs.
Lyrics Page	Some Turkish characters contained in .TXT files could cause the instrument to freeze.
Media Mode	When loading a bank of Performances from a different Pa-Series instrument, banks from #9 and over could not be loaded. The target bank in Pa600 was left empty.
	Favorite Style bank names could be lost when saving a .SET folder or .BKP archive.



# **KORG**

**Address**

KORG ITALY SpA  
Via Cagiata, 85  
I-60027 Osimo (An)  
Italy

**Web**

[www.korg.com](http://www.korg.com)

# **KORG INC.**

4015-2 Yanokuchi, Inagi-City, Tokyo 206-0812 JAPAN

© KORG Italy 2018

[www.korg.com](http://www.korg.com)  
Published 09/2018